

新聞に掲載されました！

☆第54回研修会～緑の美幌で生活体験&世界遺産の知床で文化保存体験～

北海道新聞

2010年(平成22年)8月26日(木曜日)



除草、防鹿柵見学、原生林散策… アジアの留学生 知床学ぶ



知床の森で除草作業を体験するアジアからの留学生たち

【斜里】首都圏の大学や専門学校で学ぶアジアからの留学生が24日、世界自然遺産知床で自然体験学習を行った。

東京の公立国際交流奨学財団と美幌町国際交流推進委が招待。中国、香港、マレーシア、

韓国の15人が、23日から7泊8日の日程で斜里や美幌で自然や文化を学んでいる。

24日は知床の森づくりを体験。知床財団の松林良太主任(35)が「未来の森をつくるための大事な作業。多くの人の協力で知床の自然は守られている」と説明、15人はトドマツの苗畑で熱心に除草作業を行った。シカの食害から植物を守る防鹿柵の見学や原生林の散策も行い、約2時間半、世界自然遺産を満喫した。

国士舘大学4年で中国から留学中の金恩姫さん(31)は「知床の自然に愛着がわいた。トドマツが大きく育ってほしい」と笑顔で話した。(大沢祥子)